

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年11月1日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし
 区分 : 該当なし
 区分 : 該当なし
 その他 : 9 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	起動用開閉所66kv自動オシロ盤(2)の定例試験時、装置異常を示す表示灯点灯及び警報の発生(事象発生後直ちに復帰)が認められたため、原因調査後対応検討。	G	
2	1号機	取水設備スクリーン渦巻ストレーナ出入り口圧力計において、計器内部潤滑材の減少が認められたため、当該計器を交換。	G	
3	1号機	復水ろ過装置(G~L)の定例逆洗操作時、当該操作プログラムタイマーの画面にちらつきが認められたため、原因調査後対応検討。	G	
4	2号機	原子炉建屋1階南側区域エリア放射線モニタ(ch20)において、下限警報の発生(1分程度で復帰)が認められたため、当該放射線モニタを点検。	G	
5	2号機	取水設備スクリーン洗浄水ポンプ(A)吐出ストレーナ入口圧力計において、指示不良(ポンプ停止時0.16MPa指示)が認められたため、当該計器を点検。	G	
6	2号機	残留熱除去機器冷却系調圧タンク(B)水位指示計において、現場指示計の指示不良が認められたため、当該計器を点検。	G	
7	4号機	復水脱塩装置陰イオン樹脂再生塔再生液入口弁点検時、部品(駆動部ステム)の変形が認められたため、当該部品を交換。	G	
8	3.4号廃棄物処理設備	焼却設備雑固体投入機投入ダンパにおいて、動作不良(全開状態にならない)が認められたため、当該ダンパを点検。	G	
9	その他	1号機高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備及び非常用ディーゼル発電設備(B)デイトンク室、2号機非常用ディーゼル発電設備(A)デイトンク室の消火用二酸化炭素吹出口の取り付け状態に不具合(曲がり、位置不良など)が認められたため、当該吹出口を補修。(消防署立入検査の指導事項)	G	